

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	健生神沢こども発達支援室			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な分野の資格をもつ職員（保育士・柔道整復師・言語聴覚士等）が互いの専門知識を活かし合って、子ども一人一人の特性に合わせた支援目標を立てることができる。	「月間指導計画」を作成し、各児童に対して毎月、支援内容やその結果の評価反省・次への目標を話し合い、支援の質の向上に務めている。	お互い意の専門知識を吸収し合えるような話し合い・研修等を実施していけるような体系の構築を思案中。
2	各職員の独自性を活かし、様々な視点に基づいて工夫した支援プログラムを提供できる。	各職員が考案・実施した支援内容に対して、他の職員のコメント（良かった点・改善の余地のある点・子どもの様子等）を寄せて、次に活かせるようにしている。	その日の活動について、どんな目的で何を行なうかを保護者にも伝わるように掲示等を工夫していく。
3	同法人グループの保育園（認可保育・企業主導型保育）と連携して、子どもの発達や試験プログラムに関する知識・ノウハウ等を提供し合ったり緊急時に応援を要請し合ったりできる体制がある。	共通の利用児童に関しては互いの責任者・担当者が情報交換をしっかりと行なって、連続性のある支援を提供できるように心がけている。	双方の全職員が共通する利用児童について互いの事業所での様子・過ごし方について周知できるようにしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	周辺地域との関りが少なく、交流の機会がない。	これまで地域と関わったりボランティアの受け入れ・提供をしたりしてこなかったため、経験やノウハウがない。	情報発信や情報収集に努めて、事業所の存在や活動を地域に知ってもらえるように務めていく。
2	保護者向けの研修や保護者どうしの交流の場がない。	・個別の家族支援・面談に重点を置いている。 ・スケジュールの調整が困難。	・需要の把握 ・保護者向けの研修や保護者どうしの交流の場を提供できるような体制づくりを模索していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 健生神沢こども発達支援室

公表日 2025 年 4 月 1 日

利用児童数

17

回収数

10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	2	0	提携している保育園との交流の時間がもう少しあるといい	提携園と都合・スケジュールを上手く合わせられるように調整していく
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	6	1	親向けの研修があるといい	保護者に対して研修を実施できるような職員の育成に努める
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	0	0	年 2 回の面談で助言的なアドバイスがあるといい	面談では保護者の悩み等も聞き、現状報告や今後の方針の伝達だけで終わらないように努める
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	7	0	保護者同士の交流があるといい	開所時間中に保護者の都合を合わせるの難しいが、調整できる方法を考えていく

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	3	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2	0	0	定期的に子どもの様子の写真・活動内容の報告があり、楽しく過ごせている雰囲気わかりやすい	個人情報の保護に気をつけながら、今後も発信をしていく
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	3	1	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1	0	0	いろいろな経験をさせてもらっている	今後も子どもたちが安全に楽しみながらいろいろな経験ができる内容を工夫していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		健生神沢こども発達支援室					公表日 2025年 4月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令で定められた利用者数を順守			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		可能な限り多くの職員を配置			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口にスロープを設置			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日計画的・組織的に清掃			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		別室をいくつか設置			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的にミーティングを開催 ・その日の支援内容について担当者が他の職員からコメントをもらう			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アセスメントやモニタリングでも保護者の意向を確認			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティングや情報共有ツールを活用			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		×		外部評価については受けられるように法人で検討中		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内外での研修を活用している			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムについて契約時に書面にて利用者に配布 ・事業所のHPでも公開			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		契約時および半年に一度、アセスメントを実施して支援計画に反映			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を開いて支援計画を作成			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ミーティングなどを通して支援計画に沿った支援の方向を児童ごとに検討			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・記録用のソフトを活用して確認できるようにしている ・月ごとの指導計画を独自に作成して確認・把握ができるようにしている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画書に各項目を盛り込んで支援内容を作成			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児童ごとに担当者会議を開いて計画を立案			

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		特定の職員が特定の分野の訓練しか行わない 戸いことのないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団訓練が多いが、必要に応じて個別に支援を提供
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の支援の内容について事前に周知し、注意事項や流れなどを共有
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りを行ない、良い点・改善が求められる点について検討している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容や子どもの様子について記録するソフトを活用している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも半年に一度のモニタリング・担当者会議を実施し、支援計画書の見直しをしている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には児童発達支援管理責任者が全てに参画し、状況に応じ担当者が参加している
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人として近隣の病院と提携している
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育園と連携して情報の共有を行ったり、保護者を介して幼稚園等と情報交換を行ったりしている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		情報提供書を作成して情報の共有を行なっている
	28	(28～30は、センターのみ回答)	-	-	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-	
	31	(31は、事業所のみ回答)		×	センターとの交流がほとんどないので、関わる機会を持てるように検討していく
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人の保育園と交流する機会を設けている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にその日の様子や状態、成長について保護者と話す場を設けている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		×	外部評価については受けられるように法人で検討中
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行なっている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントシートに記載された「本人・家族の希望」に基づいて支援計画書を作成している

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成した支援計画書の説明を行ない、同意の署名をいただいている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時に保護者と話をする機会を設けている ・定期的にモニタリングを実施	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		×	行事によっては家族を招くこともある	保護者の交流は実施していないが、スケジュール調整の方法について検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談等があったらすぐに上であげて対応するようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNSを利用して保護者にこまめに伝えている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・紙面の書類は鍵の付いた保管庫に保管 ・従業員には契約時に個人情報保護について説明し、誓約書の提出を求めている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童や保護者との信頼関係の構築に努め、各々の児童の特性に応じた意思疎通手段の工夫に努めている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		×		地域と関わる機会を増やす方向で手段等を検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		防災訓練を毎月実施している	保護者にしっかり周知できるようにしていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		火災や地震に対する避難訓練を毎月1回実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		×	アセスメントシートに健康に関する記載を保護者にしていただいている	予防接種や服薬に関しては保護者に任意に任せているので、必要に応じてフォームを変えて記載しやすいようにすることも検討
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事やおやつ提供はしていないが、使用する教材のことも考え、アセスメントシートに記載していただき、必要に応じて医師の助言を求める	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて訓練を実施	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成し、保護者にも配布	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		提出されたヒヤリハット報告に関しては全職員に周知し、再発防止策をミーティング等で検討	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止マニュアルを独自に作成して職員に周知するとともに、必要に応じて研修を実施	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・「利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合のみ」と定め、契約時に保護者にも伝達 ・従業員に対し、身体拘束等の適正化のための研修を定期的実施	